

電子マネーに関する調査

- 新しく登場する電子マネーの利用意向、「nanaco」は55%、「WAON」は43%
- 電子マネーを利用するにあたって重視するポイントは
「普段からよく利用する店舗で使える」(55%)がトップ
- 電子マネー1ヶ月あたりの利用金額は、平均5,124円。男女では約2,000円の差
- 今後、電子マネーに望むことは「複数の電子マネーを統一」が57%で最多

2007年4月23日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:辻本秀幸)は、一都三県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)在住の15~59歳の男女を対象に、「電子マネーに関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2007年4月9日(月)~4月10日(火)。有効回答数は1030名から得られました。

※本調査での『電子マネー』とは、国内で利用されている非接触型ICを使用したカードタイプ(SuicaやEdyなど)、携帯電話タイプ(おサイフケータイなど)を指します。インターネット専用の電子マネー(WebMoney、ちょコム等)などは除きます。

【調査結果概要】

【1】新しく登場する電子マネーの利用意向、「nanaco」は55%、「WAON」は43%

4月23日に株式会社セブン&アイ・ホールディングスより発行される電子マネー「nanaco」(ナナコ)、4月下旬よりイオン株式会社より発行される予定の電子マネー「WAON」(ワオン)について、それぞれ知っている人に利用意向を尋ねてみたところ、「利用したい(「利用したい(既に入会登録を行った)」+「やや利用したい)」と回答した人は、「nanaco」55%、「WAON」43%でした。利用したい理由は、「nanaco」の場合「セブン-イレブンをよく使うから」(71%)、「WAON」の場合「ポイントがついてお得だから」(61%)がそれぞれトップでした。

【2】電子マネーを利用するにあたって重視するポイントは「普段からよく利用する店舗で使える」(55%)がトップ

電子マネーを利用している人に、電子マネーを利用するにあたって重視するポイントを尋ねてみたところ、「普段からよく利用する店舗で使える」が55%で最も高く、次いで「使えるお店の数が多い」(50%)、「使い方や仕組みがわかりやすい」(49%)となりました。

【3】電子マネー1ヶ月あたりの利用金額は、平均5,124円。男女では約2,000円の差

電子マネーを利用している人に、1ヶ月あたりいくらぐらい電子マネーで支払いをしているのか尋ねてみたところ、平均は約5,124円でした。

男女別に見たところ、1ヶ月あたりの電子マネーによる支払い金額の平均は男性約5,991円、女性約3,989円となり、その差は約2,000円となりました。

【4】今後、電子マネーに望むことは「複数の電子マネーを統一」が57%で最多

今後、電子マネーに関してどのようなことを望むか尋ねたところ、「複数の電子マネーを統一」が57%でトップでした。次いで「セキュリティの強化」(54%)、「ポイント・割引など付加サービスの充実」(50%)という結果となりました。

「電子マネーに関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法	インターネットリサーチ			
調査地域	一都三県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)			
調査対象	15歳～59歳の男女(マクロミルモニタ会員)			
有効回答数	計 1030 サンプル (下記の通り均等割付、回収)			
	男性 10代	103 サンプル	女性 10代	103 サンプル
	男性 20代	103 サンプル	女性 20代	103 サンプル
	男性 30代	103 サンプル	女性 30代	103 サンプル
	男性 40代	103 サンプル	女性 40代	103 サンプル
	男性 50代	103 サンプル	女性 50代	103 サンプル
調査日時	2007年4月9日(月)～4月10日(火)			

I. 新電子マネーの利用意向

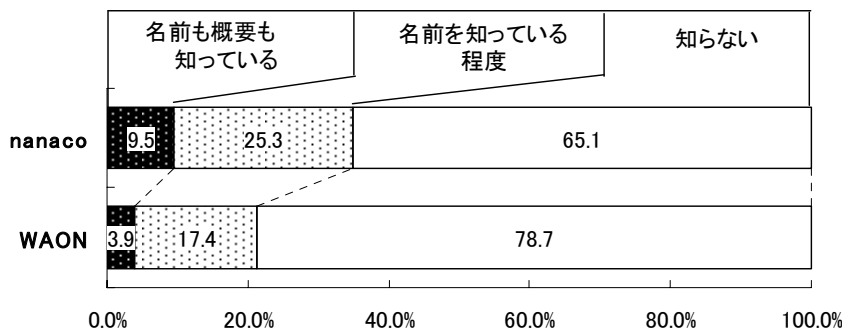
■ 新しく登場する電子マネーの利用意向、‘nanaco’は55%、‘WAON’は43%

4月23日(月)から株式会社セブン&アイ・ホールディングスより発行される電子マネー‘nanaco’、4月下旬からイオン株式会社より発行される電子マネー‘WAON’について、知っているか尋ねたところ、「知っている(名前も概要も知っている+名前を知っている程度)」と回答した人は‘nanaco’35%、‘WAON’21%でした。【図1】

また、それぞれの電子マネーを知っていると回答した人に利用意向を尋ねてみたところ、「利用したい(「利用したい(既に入会登録を行った)」+「やや利用したい)」と回答した人は、‘nanaco’が55%、‘WAON’は43%という結果になりました。【図2】

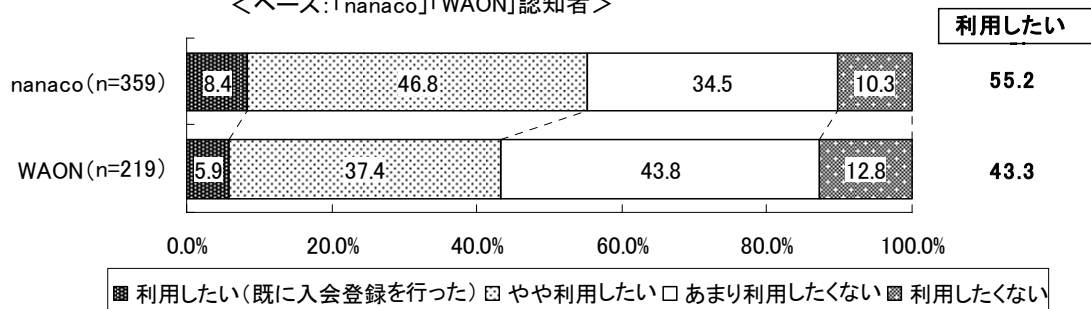
【図1】新電子マネー「nanaco」「WAON」認知度

Q. あなたは、2007年4月23日(月)から株式会社セブン&アイ・ホールディングスが発行する予定の電子マネー「nanaco」、2007年4月下旬からイオン株式会社が発行する予定の電子マネー「WAON」をご存知ですか？<全員 n=1030>



【図2】新電子マネー「nanaco」「WAON」利用意向

Q. あなたは、電子マネー「nanaco」「WAON」を利用したいと思いますか？
<ベース:「nanaco」「WAON」認知者>



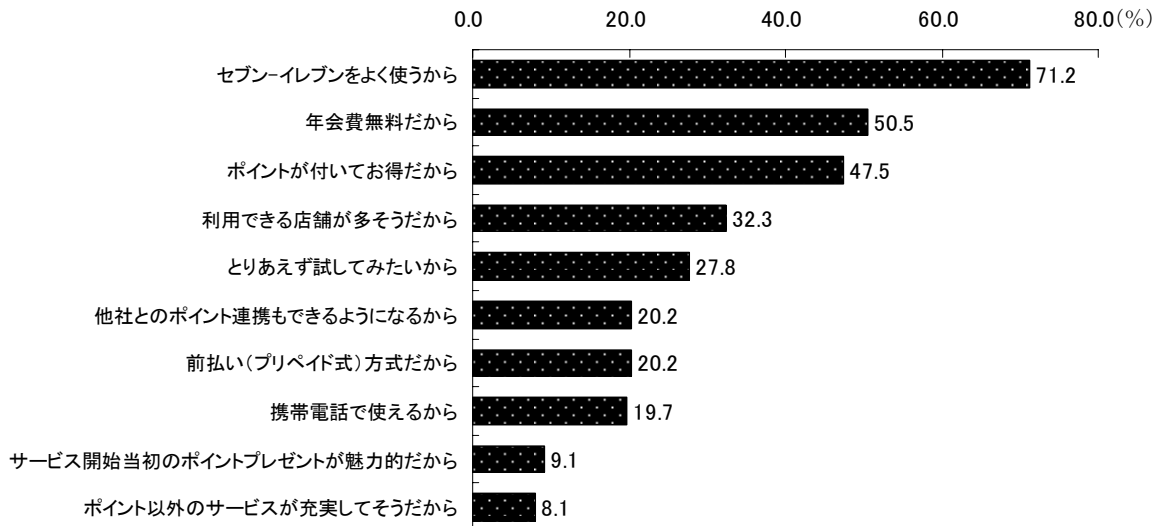
■ ‘nanaco’ を利用したい理由は「セブン-イレブンをよく使うから」(71%)

‘nanaco’ の利用意向者（「利用したい（既に入会登録を行った）」もしくは「やや利用したい」と回答した人）に、利用してみたいと思った理由を尋ねたところ、「セブン-イレブンをよく使うから」が71%でトップでした。まずは既存顧客の利用が、‘nanaco’ の普及を促進させそうです。【図3】

一方、非利用意向者（「利用したくない」もしくは「あまり利用したくない」と回答した人）に利用したくない理由を尋ねてみると、「セブン-イレブンをあまり利用しないから」が35%で最も高くなっており、利用したい理由と拮抗する結果となりました。【図4】

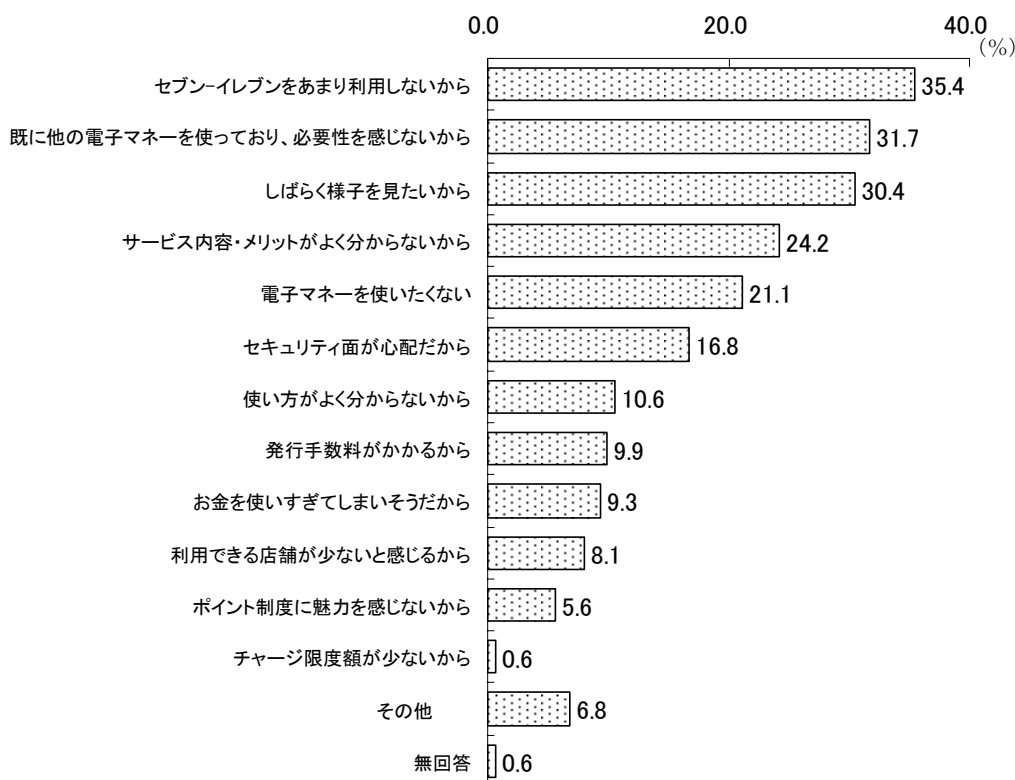
【図3】「nanaco」を利用したい理由

Q. 「nanaco」を利用してみたいと思った理由をすべてお知らせください。
(いくつでも) <ベース:「nanaco」利用意向者 n=198>



【図4】「nanaco」を利用したくない理由

Q. 「nanaco」を利用したくないと思った理由をすべてお知らせください。
(いくつでも) <ベース:「nanaco」非利用意向者 n=161>



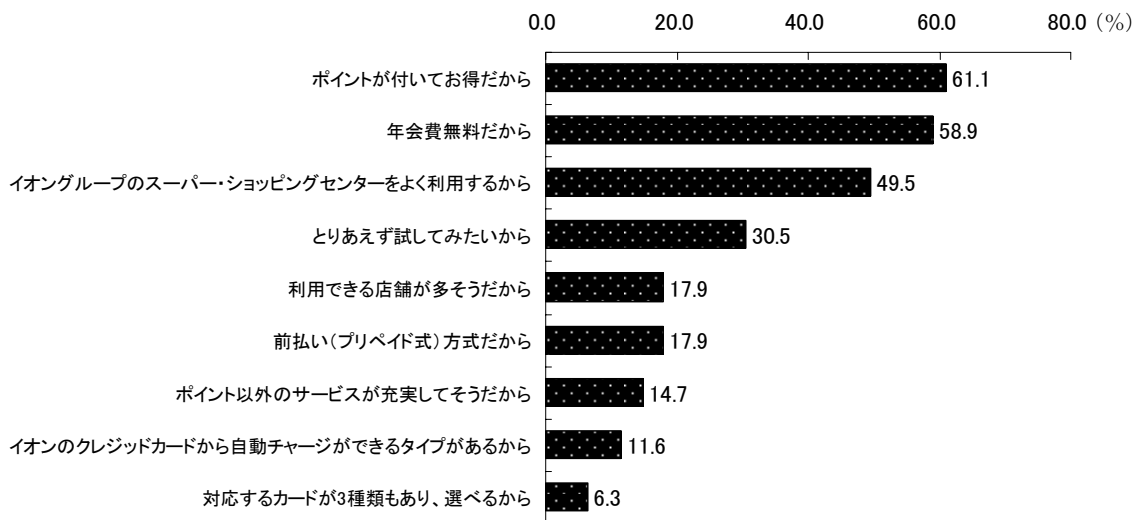
■ ‘WAON’ を利用したい理由は、「ポイントが付いてお得だから」(61%)

‘WAON’の利用意向者(「利用したい」もしくは「やや利用したい」と回答した人)に、利用してみたいと思った理由を尋ねたところ、「ポイントが付いてお得だから」が61%でトップでした。次いで「年会費無料だから」(59%)が挙がっており、お得感が評価されている様子が窺えます。【図5】

一方、非利用意向者(「利用したくない」もしくは「あまり利用したくない」と回答した人)に利用したくない理由を尋ねてみると、「イオングループのスーパー・ショッピングセンターをあまり利用しないから」が44%で最も高くなりました。【図6】

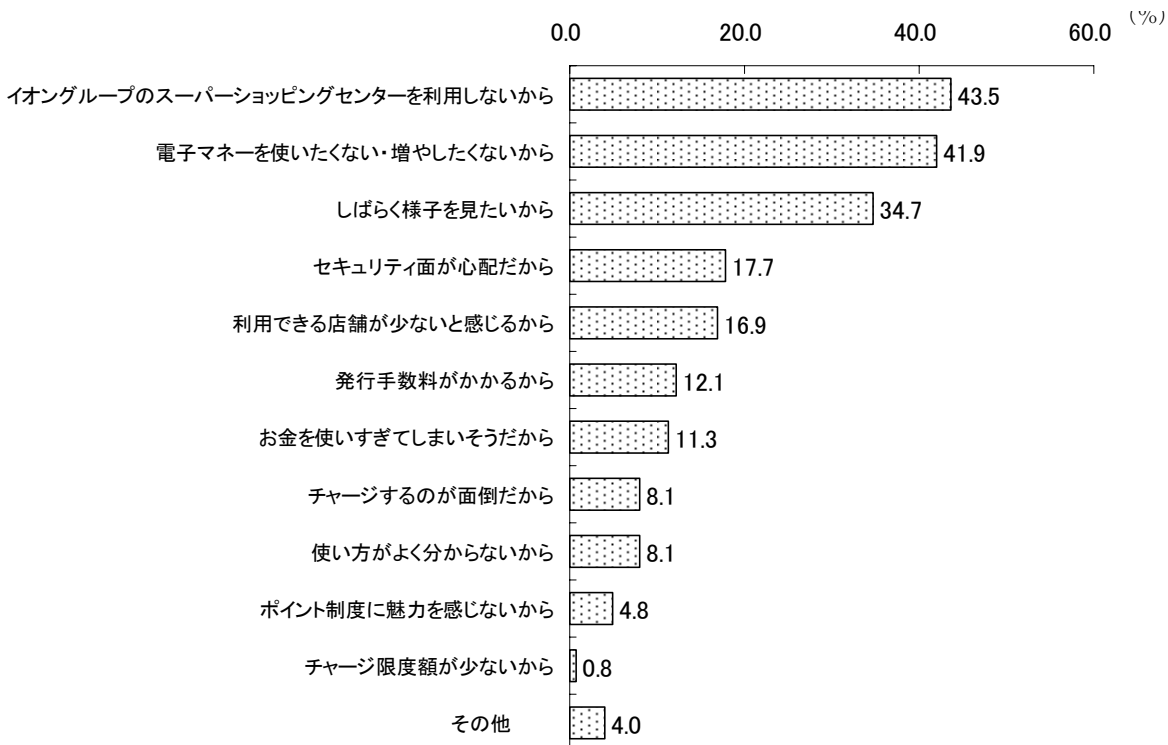
【図5】‘WAON’を利用したい理由

Q. ‘WAON’を利用してみたいと思った理由をすべてお知らせください。
(いくつでも) <ベース: ‘WAON’利用意向者 n=95>



【図6】‘WAON’を利用したくない理由

Q. ‘WAON’を利用したくないと思った理由をすべてお知らせください。
(いくつでも) <ベース: ‘WAON’非利用意向者 n=124>



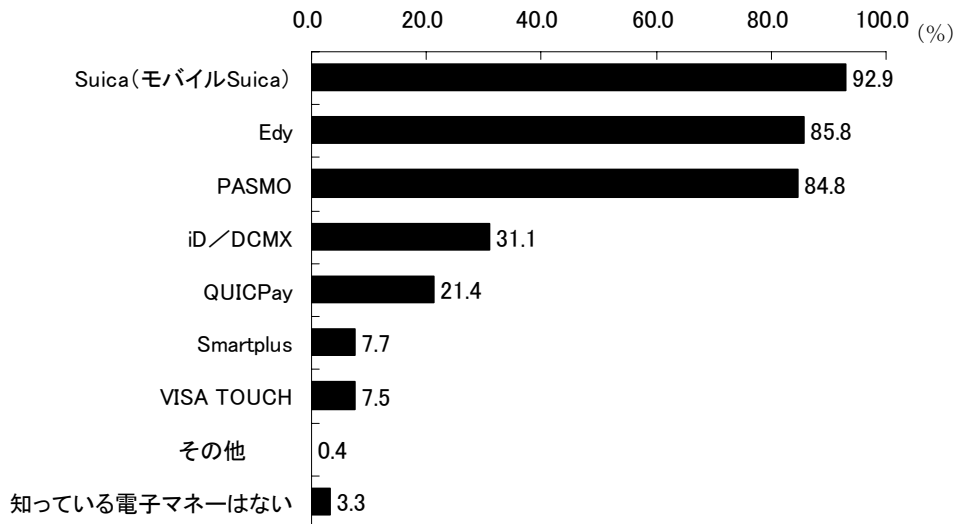
II. 電子マネーの利用全般について

■ 「Suica」「Edy」「PASMO」の認知は、約9割

既に発行されている電子マネーのうち、知っているものを尋ねたところ、「Suica(モバイルSuica)」(93%)、次いで「Edy」(86%)、「PASMO」(85%)という結果になりました。3月18日(日)よりサービスを開始した「PASMO」は、発売後約1ヶ月間でかなり認知が進んでいるようです。【図7】

【図7】電子マネー認知度

Q. あなたがご存知の電子マネーの種類をすべてお選びください。(いくつでも)
<全員 n=1030>



■ 電子マネーの利用、男性は30代(66%)、女性は20代(54%)が活発

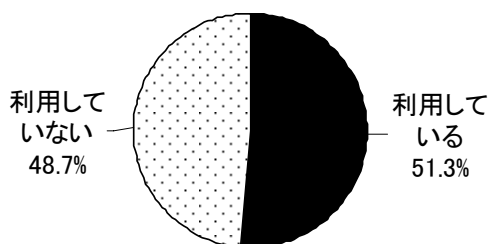
電子マネーを利用しているかどうか尋ねたところ、全体では約半数(51%)の人が「利用している」と回答しました。【図8】

性・年代別でみたところ、男性は30代(66%)、女性は20代(54%)の利用が特に活発なようです。【図9】

Q. あなたは現在、電子マネーを利用していますか？

※インターネット専用の電子マネー(WebMoney、ちょコムなど)等は除いてお答えください。 <全員 n=1030>

【図8】電子マネー利用率 <全体>



【図9】電子マネー利用率 <性・年代別>

		利用している (%)	利用していない (%)
性別	男性(n=515)	58.3	41.7
	女性(n=515)	44.3	55.7
性・年代別	男性15~19歳(n=103)	56.3	43.7
	男性20~29歳(n=103)	60.2	39.8
	男性30~39歳(n=103)	66.0	34.0
	男性40~49歳(n=103)	61.2	38.8
	男性50~59歳(n=103)	47.6	52.4
	女性15~19歳(n=103)	47.6	52.4
	女性20~29歳(n=103)	54.4	45.6
	女性30~39歳(n=103)	39.8	60.2
	女性40~49歳(n=103)	48.5	51.5
	女性50~59歳(n=103)	31.1	68.9

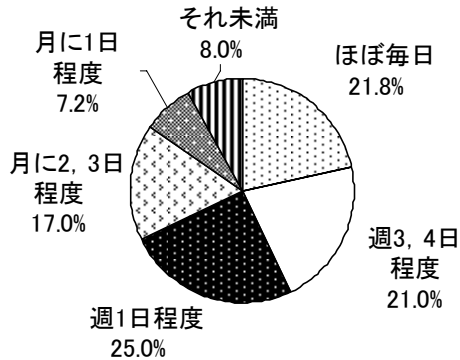
■ 利用している電子マネーのタイプは「カードタイプのみ」が78%で最多

電子マネーを利用している人に利用頻度を尋ねたところ、「週1日程度」が25%で最多でした。【図10】

また、利用している電子マネーのタイプを聞いたところ、「カードタイプのみ」が78%でトップとなりました。「携帯電話タイプ（おサイフケータイなど）のみ」（9%）は1割に満たず、「カードと携帯電話の両方」と回答した人は13%にとどまりました。【図11】

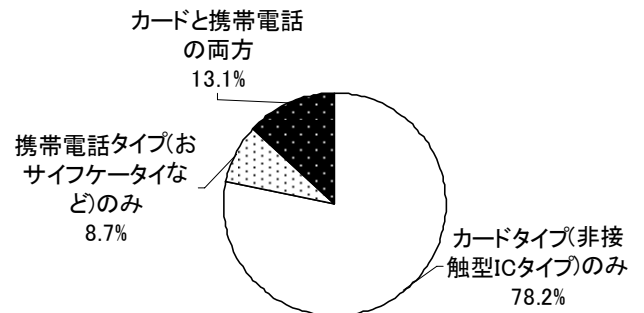
【図10】電子マネー利用頻度

Q. あなたは、電子マネーをどのぐらいの頻度で利用していますか？
（ベース：電子マネー利用者 n=528）



【図11】電子マネー利用タイプ

Q. あなたが現在利用している電子マネーのタイプをお知らせください。（ベース：電子マネー利用者 n=528）



■ 利用している電子マネーの種類は

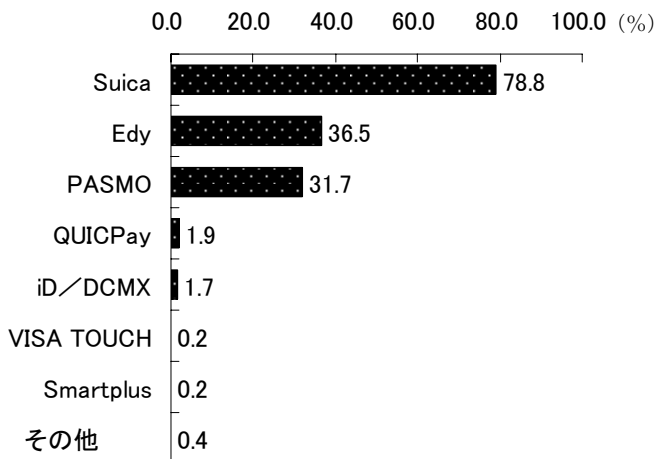
カードタイプでは「Suica」（79%）、携帯電話タイプでは「Edy」（73%）がトップ

利用している電子マネーの種類を、カードタイプ、携帯電話タイプそれぞれについて尋ねたところ、カードタイプは「Suica」（79%）【図12】、携帯電話タイプは「Edy」（73%）【図13】がトップとなりました。

Q. 現在あなたが利用している電子マネーの種類をお知らせください。（いくつでも）

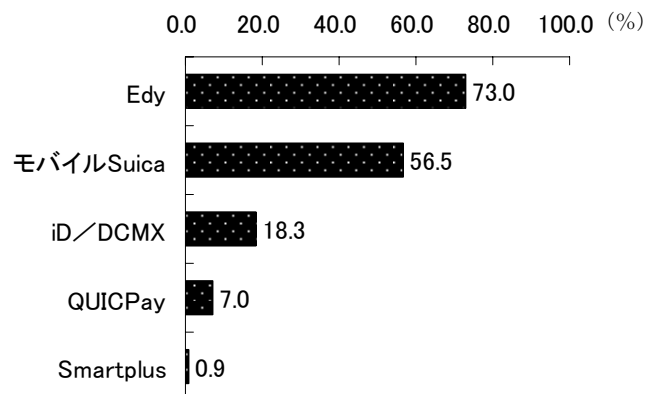
【図12】利用している電子マネー <カードタイプ>

（ベース：カードタイプの電子マネー利用者 n=482）



【図13】利用している電子マネー <携帯電話タイプ>

（ベース：携帯電話タイプの電子マネー利用者 n=115）



■ 電子マネー1ヶ月あたりの利用金額は、平均5,124円。男女では約2,000円の差

電子マネーを利用している人に、1ヶ月あたりいくらぐらい電子マネーで支払いをしているのか尋ねてみたところ、全体の平均は約5,124円でした。【図14】

男女別に見たところ、1ヶ月あたりの電子マネーによる支払い金額の平均は男性約5,991円、女性約3,989円となり、その差は約2,000円となりました。【図15】

Q. あなたは1ヶ月あたり平均していくらぐらい電子マネーで支払いを利用していますか？
<ベース:電子マネー利用者 n=517>

【図14】

1ヶ月あたりの平均支払額<全体>

平均 5,124円/月

【図15】1ヶ月あたりの平均支払額<性・年代別>

<男性>

年齢	平均(円)
男性15～19歳(n=57)	2,689
男性20～29歳(n=61)	6,432
男性30～39歳(n=64)	6,784
男性40～49歳(n=62)	7,028
男性50～59歳(n=49)	6,935
男性全体(n=293)	5,991

<女性>

年齢	平均(円)
女性15～19歳(n=48)	3,184
女性20～29歳(n=55)	4,145
女性30～39歳(n=39)	4,823
女性40～49歳(n=50)	3,122
女性50～59歳(n=32)	5,265
女性全体(n=224)	3,989

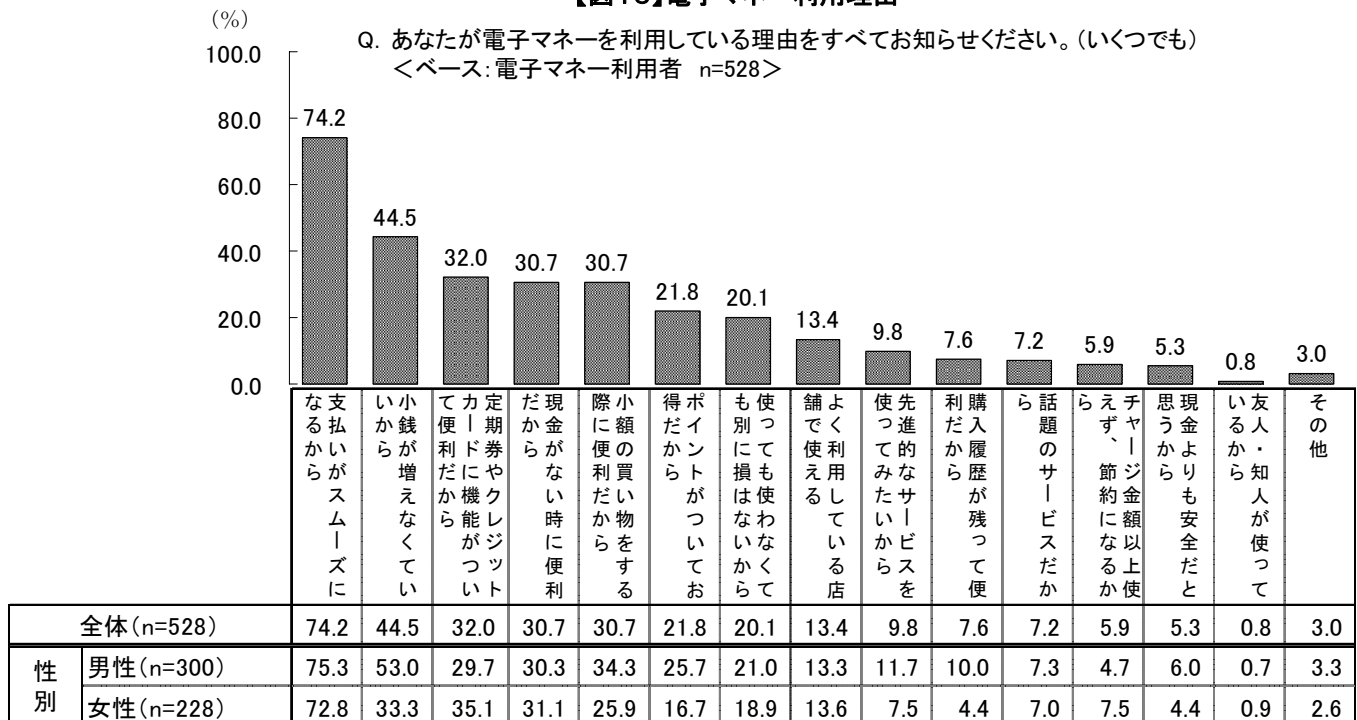
■ 電子マネーを利用する理由は、約7割が「支払いがスムーズになるから」(74%)

電子マネーを利用している理由として最も高かったのは、「支払いがスムーズになるから」(74%)、次いで「小銭が増えなくていいから」(45%)となっています。【図16】

男女別にみると、男性は「小銭が増えなくていいから」という理由が女性に比べて20ポイント程高くなっています。男性は、少額決済を行う際にメリットを感じている人が多いようです。

【図16】電子マネー利用理由

Q. あなたが電子マネーを利用している理由をすべてお知らせください。(いくつでも)
<ベース:電子マネー利用者 n=528>

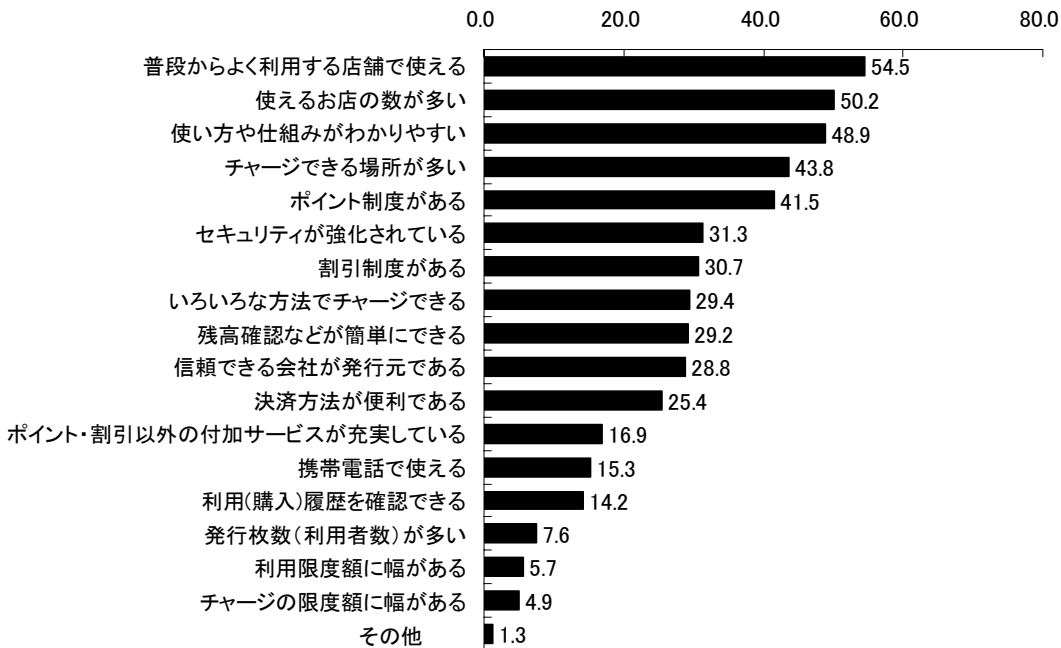


■ 電子マネーを利用するにあたって重視するポイントは「普段からよく利用する店舗で使える」(55%)がトップ

電子マネーを利用している人に、電子マネーを利用するにあたって重視するポイントを探ってみたところ、「普段からよく利用する店舗で使える」が55%で最も高く、次いで「使えるお店の数が多い」(50%)、「使い方や仕組みがわかりやすい」(49%)となりました。【図17】

【図17】電子マネー重視点

Q. 電子マネーを利用するにあたって、あなたが重視する点をすべてお知らせください。(いくつでも)
 <ベース: 電子マネー利用者 n=528>

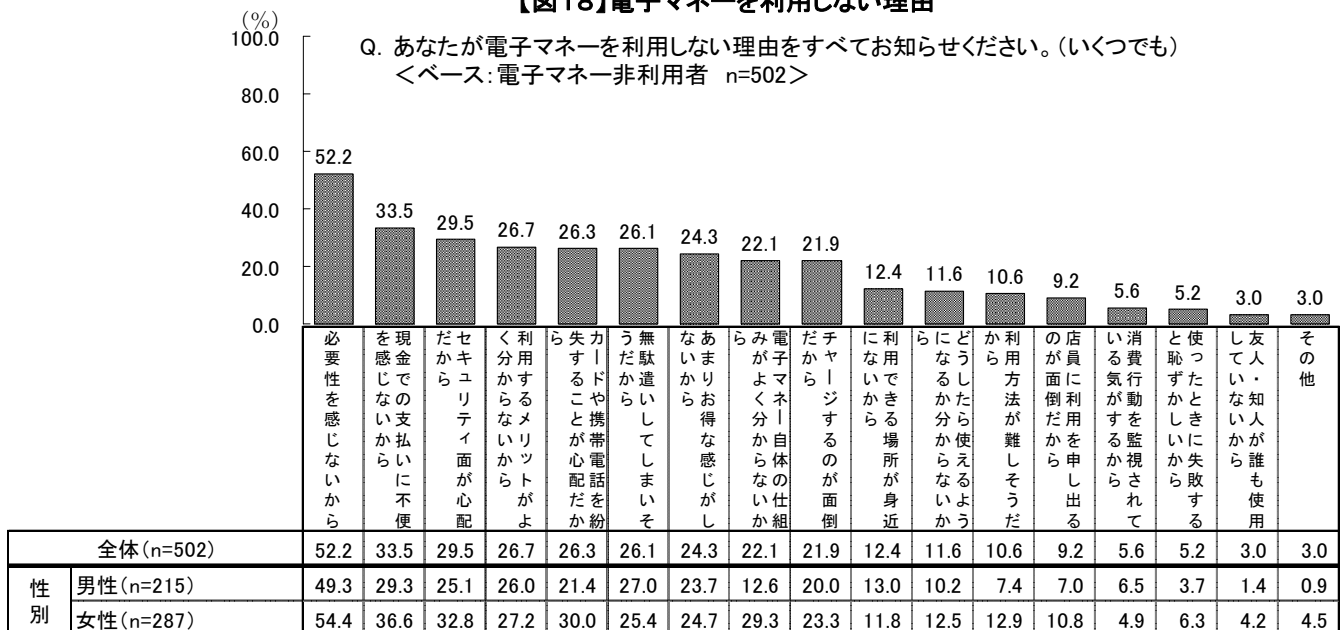


■ 電子マネーを利用しない理由は、約半数が「必要性を感じないから」(52%)

電子マネーを利用していない人に、利用しない理由を探ねたところ、約半数の人が「必要性を感じないから」(52%)と回答しています。次いで「現金での支払いに不便を感じないから」(34%)、「現金での支払いに不便を感じないから」(34%)、「セキュリティ面が心配だから」(30%)となりました。【図18】

【図18】電子マネーを利用しない理由

Q. あなたが電子マネーを利用しない理由をすべてお知らせください。(いくつでも)
 <ベース: 電子マネー非利用者 n=502>



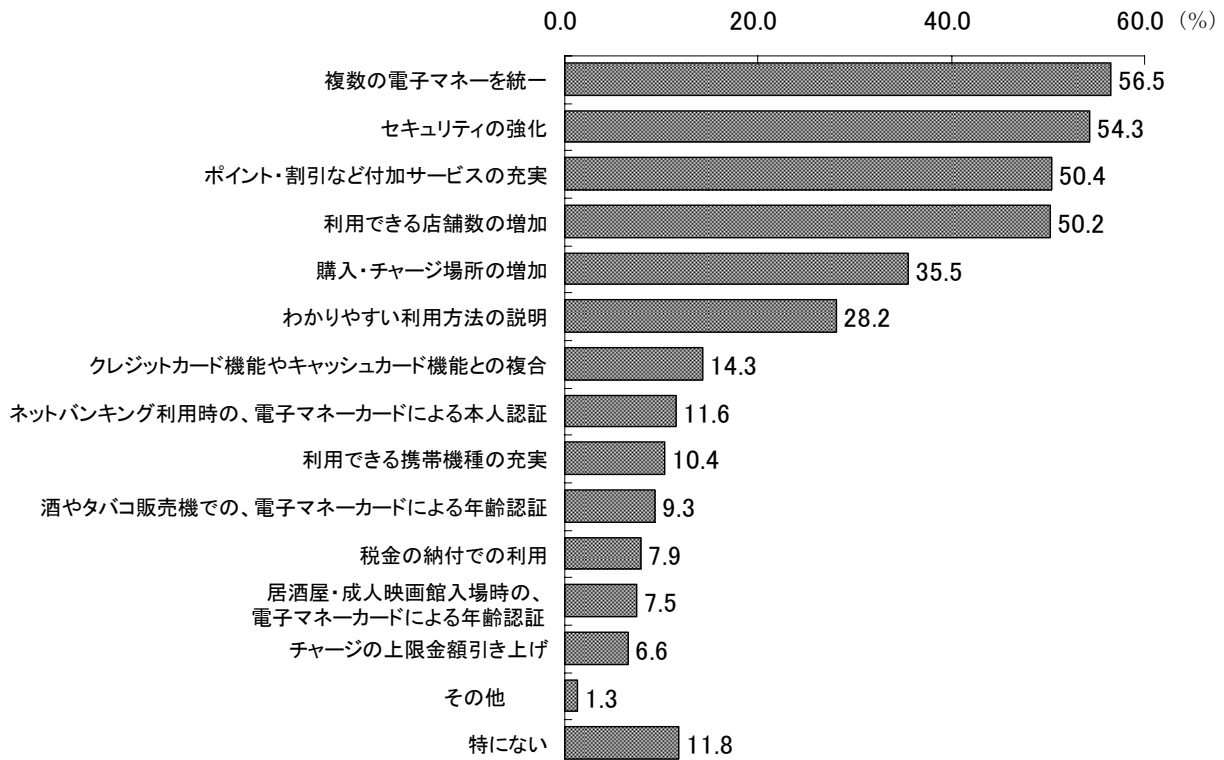
Ⅲ. 今後の電子マネーへの期待

■ 今後、電子マネーに望むことは「複数の電子マネーを統一」が57%で最多

今後、電子マネーに関してどのようなことを望むか尋ねたところ、「複数の電子マネーを統一」が57%でトップとなりました。次いで「セキュリティの強化」(54%)、「ポイント・割引など付加サービスの充実」(50%)「利用できる店舗数の増加」(50%)が僅差であがっています。【図19】

【図19】電子マネーに望むこと

Q. あなたが今後、電子マネーに望むことはどのようなことですか？(いくつでも) <全員 n=1030>



■ 電子マネーの導入を増やしてほしい場所

1位「公共交通機関」(58%)、2位「コンビニエンスストア」(47%)、3位「書店」(45%)

今後、電子マネーの導入を増やしてほしい場所を尋ねたところ、1位「公共交通機関」(58%)、2位「コンビニエンスストア」(47%)、3位「書店」(45%) となりました。【図20】

【図20】電子マネー導入希望場所

Q. 今後どのような場所で、電子マネーの導入が増えるといいと思いますか？(いくつでも) <全員 n=1030>
<上位10位>

順位	場所	(%)
1	公共交通機関(バス・電車・新幹線など)	58.3
2	コンビニエンスストア	46.6
3	書店	44.7
4	駅・キオスク	40.2
5	ファーストフード店	36.8
6	自動販売機(飲料)	31.9
7	ドラッグストア	30.8
8	コーヒーチェーン店	29.7
9	スーパーマーケット・食料品店	28.8
10	病院	26.9

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 48 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000 年 1 月 31 日
資本金 ■9 億 1,243 万円 ※2006 年 12 月末現在
上場取引所 ■東証一部 (証券コード : 3730)
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■188 名 ※2007 年 3 月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

—— 本件に関するお問い合わせ先 ——

株式会社マクロミル 広報担当：関・西沢
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」